

# 車輪脱輪防止装置GIM

「車検対応」装置として認可済み

道路運送車両の保安基準抵触の有無について東北運輸局を通じて確認を取ることで、「車検対応脱輪装置」として認められ、現在自社ほぼ全車輻に順次実装しております。

実走行試験で脱輪防止効果を実証！

(財)日本自動車研究所(つば)において(社)全日本トラック協会立会のもと自社所有車「いすゞCMX71V-3000504」の左後駆動軸(1軸)に脱輪防止装置を取り付けしての走行試験を行い、ナットを全て取り外し「ナット脱落状態」と、スタックボルトをガス溶断した「ボルト折損状態」で、一定速度定常走行、レーンチェンジ走行、半径30m円旋回走行、坂道発進の各試験走行を実施した結果、「車輪の脱落」はもちろん、「脱輪装置ボルトの緩み」のないことも実証されました。

## ■ 走行条件

【発進加速走行、減速制動走行】

〈30km/h〉

【一定速度定常走行】

〈30km/h,40km/h,50km/h,60km/h,70km/h,80km/h、(ナット脱落状態)〉

【レーンチェンジ走行】

〈20km/h,40km/h,60km/h,80km/h(ナット脱落状態)〉

【半径30m円旋回走行】

〈右・左旋回、30km/h(ナット脱落状態)、25km/h(ボルト折損状態)〉

【坂道発進】

(ボルト折損状態)

洗いを励行することが大切です。